



## VDI 向け Webex アプリの概要

---

- [Webex アプリ VDI 導入タスクのフロー](#) (1 ページ)
- [ホストされた仮想デスクトップの構成と Webex アプリ のインストール](#) (3 ページ)
- [Webex アプリ 向けの Azure Virtual Desktop の設定](#) (7 ページ)
- [Control Hub における Webex アプリ 向けの VDI 最適化の設定](#) (8 ページ)
- [Windows シンククライアントシステムにおける Webex アプリ VDI プラグインのインストール](#) (8 ページ)
- [Linux シンククライアントシステムにおける Webex アプリ VDI プラグインのインストール](#) (11 ページ)
- [macOS シンククライアントシステムにおける Webex アプリ VDI プラグインのインストール](#) (13 ページ)
- [シンククライアントシステムにおける Webex Meetings VDI プラグインのインストール](#) (16 ページ)
- [VDI 向け Webex アプリの既知の問題と制限](#) (18 ページ)

## Webex アプリ VDI 導入タスクのフロー

これらの手順では、VDI 環境に Webex アプリ を展開する方法について説明します。この手順には、ホストされた仮想デスクトップ (HVD) 環境で実行する必要があることと、ユーザがシンククライアントで実行する必要があることが含まれます。

始める前に

[VDI 向け Webex アプリ の環境の準備](#)



---

**重要** Webex アプリ VDI ユーザが組織内のコール機能にアクセスする場合は、「環境の準備」の章の手順を使用して、に VDI を展開する前にコールサービス (Unified CM、Webex Calling、BroadWorks) を展開する必要があります。

---

## 手順

|        | コマンドまたはアクション   | 目的   |
|--------|--|--|
| ステップ 1 | 次のいずれかのタイプのホストされた仮想デスクトップを構成します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ホストされた仮想デスクトップの構成と Webex アプリ のインストール (3 ページ)</li> <li>• Webex アプリ 向けの Azure Virtual Desktop の設定 (7 ページ)</li> </ul>   | シンクライアントデバイスからリモートで Webex アプリ アクセスするユーザのための準備を整えるには、中央集中型のホストされた仮想デスクトップ (HVD) 環境に Webex アプリ をセットアップします。   |
| ステップ 2 | Control Hub における Webex アプリ 向けの VDI 最適化の設定 (8 ページ)  | Control Hub では、組織レベルの設定を使用して、VDI の最適化と Webex アプリ ユーザーの検出を有効または無効にできます。デフォルトでは、設定は有効になっています。  |
| ステップ 3 | 次のプラットフォームのシンクライアントマシンに Webex アプリ VDI プラグインをインストールします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Windows—Windows シンクライアントシステムにおける Webex アプリ VDI プラグインのインストール (8 ページ)</li> <li>• Linux—Linux シンクライアントシステムにおける Webex アプリ VDI プラグインのインストール (11 ページ)</li> <li>• macOS—macOS シンクライアントシステムにおける Webex アプリ VDI プラグインのインストール (13 ページ)</li> </ul> | Webex アプリ を中央の HVD 環境にインストールしたら、次に、ユーザにシンクライアントデバイスに Webex アプリ VDI プラグインをインストールしてもらいます。シンクライアントは通常、軽量または用途変更されたコンピュータで、Webex アプリ がホストされる中央集中型の HVD サーバーとのリモート接続をユーザが確立するために使用します。サポートされるプラットフォーム用のシンクライアントプラグインは、 <a href="https://www.webex.com/downloads/teams-vdi.html">https://www.webex.com/downloads/teams-vdi.html</a> で利用できます。 |
| ステップ 4 | (任意) シンクライアントシステムにおける Webex Meetings VDI プラグインのインストール (16 ページ)   | Webex アプリ との完全な機能を備えた会議の場合、お客様またはお客様のユーザは、シンクライアントに 2 つの個別の VDI プラグインをインストールする必要があります。前の手順ですでにインストールされている Webex アプリ VDI プラグインに加えて、同じマシンに Webex Meetings VDI プラグインもインストールする必要があります (HVD に Webex アプリ をインストールする必要のみがあります)。  |

# ホストされた仮想デスクトップの構成と Webex アプリのインストール

シンクライアントデバイスからリモートで Webex アプリ アクセスするユーザーのための準備を整えるには、中央集中型のホストされた仮想デスクトップ (HVD) 環境に Webex アプリ をセットアップします。

## 始める前に

- 「[VDI 向け Webex アプリ の環境の準備](#)」のすべての前提条件に従います。



**重要** Webex アプリ VDI ユーザーが組織内のコール機能にアクセスする場合は、VDI を展開する前にコールサービス (Unified CM、Webex Calling、BroadWorks) を展開する必要があります。

- このセクションでは、既存の HVD 環境への Webex アプリ のインストール方法についてのみ説明します。HVD の展開のベストプラクティスについては、Citrix または VMware のドキュメントを参照してください。

**ステップ 1** ドメイン管理者権限を使用して、新しいユーザーとして Microsoft Windows HVD にサインインします。

**ステップ 2** HVD を企業ドメインに参加させます。

**ステップ 3** HVDs への Citrix または VMware アクセスをセットアップします。

**ステップ 4** 組織にサイト固有の Webex アプリ を含むダウンロードサイトがある場合は、そのサイトにアクセスして組織固有のバージョンをダウンロードします。それ以外の場合は、汎用バージョンでは、<https://www.webex.com/downloads/teams-vdi.html> に移動し、**HVD インストーラ**で、システムアーキテクチャに応じて、HVD の Webex アプリ ビルドをダウンロードします。

- Windows 32 ビット
- Windows 64 ビット

**ステップ 5** 管理者権限を使用して、これらのコマンドと引数を使用してアプリを HVD にインストールします (これらの例では、c:\users\[username]\Downloads\Webex.msi のダウンロードディレクトリ (「username」はサインインしているユーザーの名前です) および自動検出 VDI スイッチ (ENABLEVDI=2) を使用します)。

### • 自動アップグレードが有効 :

• 自動アップグレードが有効になっている永続的な VDI 設定の VDI クライアント —msiexec /i c:\users\[username]\Downloads\Webex.msi ALLUSERS=1 ENABLEVDI=2 AUTOUPGRADEENABLED=1

• 自動アップグレードが有効になっている非永続的な VDI 設定の VDI クライアント —msiexec /i c:\users\[username]\Downloads\Webex.msi ALLUSERS=1 ENABLEVDI=2 AUTOUPGRADEENABLED=1 ROAMINGENABLED=1

(注) 自動アップグレードを使用する場合は、[Control Hub 組織を低速チャンネルに移動すること](#)をお勧めします。詳細については、本ガイドの「アップグレードの管理」を参照してください。

• 自動アップグレード無効 :

- 自動アップグレードが無効になっている永続的な VDI 設定の VDI クライアント —msiexec /i c:\users\[username]\Downloads\Webex.msi ALLUSERS=1 ENABLEVDI=2 AUTOUPGRADEENABLED=0
- 自動アップグレードが無効になっている非永続的な VDI 設定の VDI クライアント —msiexec /i c:\users\[username]\Downloads\Webex.msi ALLUSERS=1 ENABLEVDI=2 AUTOUPGRADEENABLED=0 ROAMINGENABLED=1

VDI 環境への Webex アプリ のインストール時に使用できる引数の説明については、次の表を参照してください。

**ステップ 6** HVD イメージを複製します。

Microsoft Windows HVD イメージのクローンを作成するためのベストプラクティスの詳細については、Citrix または VMware 製品のドキュメントを参照してください。

次のタスク

ユーザ設定とその保存方法については、[ユーザ設定 \(7 ページ\)](#) を参照してください。

## インストール引数、説明、および必要な権限

VDI 環境への Webex アプリ のインストール時に使用できる引数の説明については、次の表を参照してください。

| 引数         | 注意事項   | 管理者インストール権限が必要 |
|------------|--|----------------|
| ALLUSERS=1 | c:\program ファイルに Webex アプリ をインストールします。これは、共有環境（通常は非永続的 VDI）で役立ちます。<br><br>この引数が指定されていない場合は、Webex アプリは %LocalAppData%\Programs\Cisco Spark にインストールされます。 | ✓              |

| 引数  | 注意事項  | 管理者インストール権限が必要 |
|---|---|----------------|
| AUTOUPGRADEENABLED=0<br>AUTOUPGRADEENABLED=1                  | <p>0 の値は、Webex アプリが VDI 環境で更新をダウンロードしないようにします。アップグレードを手動で維持する場合は、このオプションを使用します。 <a href="https://www.webex.com/downloads/teams-vdi.html">https://www.webex.com/downloads/teams-vdi.html</a> の Webex アプリ VDI のダウンロードページに提供されているバージョンを使用します。この引数は、VDI ではない環境に影響を与えません。</p> <p>値が 1 の場合、HVD で Webex アプリの自動アップグレードが許可されます。このオプションを使用する場合は、<a href="#">組織が低速チャネル用に構成されていることを確認してください</a>。</p> <p>この引数は ALLUSERS=1 で指定する必要があります。それ以外の場合、AUTOUPGRADEENABLED 引数は無視されます。</p> | ✓              |
| ENABLEVDI=1<br>ENABLEVDI=2                                    | <p>最適化された VDI ソリューションを制御します。(公式にサポートされています。)</p> <p>1 は、最適化された VDI モードを強制します。2 は、環境検出を使用して自動的に最適化された VDI モードを有効にします。</p>  | ✓              |
| FORCELOCKDOWN=LockWhenCompatible<br>FORCELOCKDOWN=NeverUpdate | <p><b>バンドルインストーラのみ。</b> Webex アプリのバンドルコンポーネントをインストールする際に、バージョンがサイトのバージョンと互換性がある場合、この引数を使用すると、会議の参加に使用するアプリのバージョンをロックできます。</p>   | ✓              |
| INSTALLWV2=1  | <p>INSTALLWV2 コマンドラインパラメータを使用して Webex アプリをインストールしているとき、Microsoft の WebView2 組み込みブラウザをインストールします。Webex の適切な動作には、WebView2 が必要です。</p> <p>Webex アプリと WebView2 の要件の詳細については、<a href="#">Webex アプリ   WebView2 要件</a>を参照してください。</p>  | ✓              |

| 引数               | 注意事項  | 管理者インストール権限が必要 |
|------------------|---|----------------|
| ROAMINGENABLED=1 | <p>この引数が指定されている場合、ローミングデータベース (spark_roaming_store.db) がユーザのローミングディレクトリ (AppData\Roaming) に保存されます。それ以外の場合、ローミングデータベースは AppData\Local に保存されます。</p> <p>この引数は ALLUSERS=1 で指定する必要があります。それ以外の場合、ROAMINGENABLED 引数は無視されます。</p> <p>詳細については、「<a href="#">ユーザ設定 (7 ページ)</a>」を参照してください。</p> | ✓              |

## インストールの比較

ユーザが Citrix 環境において、シンクライアントがインストールされていないか、仮想チャンネルが切断されている場合があります。非仮想 Webex アプリ インストールへのフォールバックを使用して、このシナリオをサポートします。このモードでは、ビデオの質が影響を受ける可能性がある旨の警告がアプリに表示されます。仮想チャンネルが接続されると、アプリは VDI モードに変更できます。

次の表を使用して、さまざまなインストールの組み合わせと、Unified CM、Webex Calling、および Webex アプリ におけるコールについてのメディア最適化への影響を理解します。

| HVD VDI 引数                         | シンクライアントプ<br>ラグイン | コールサービス対応ユー<br>ザ           | コール -Webex アプリ             |
|------------------------------------|-------------------|----------------------------|----------------------------|
| ENABLEVDI=0                        | インストールされて<br>いません | メディアが最適化されま<br>せん          | メディアが最適化されま<br>せん          |
| ENABLEVDI=0                        | インストール済み          | メディアが最適化されま<br>せん          | メディアが最適化されま<br>せん          |
| ENABLEVDI=1 *<br>ENABLEVDI=2<br>** | インストール済み          | サポート対象の展開。メ<br>ディアが最適化されます | サポート対象の展開。メ<br>ディアが最適化されます |
| ENABLEVDI=1 *<br>ENABLEVDI=2<br>** | インストールされて<br>いません | 最適化されていないメ<br>ディアへのフォールバック | 最適化されていないメ<br>ディアへのフォールバック |

\* この引数は、VDI 環境を自動的に検出しません。

\*\* この引数は、VDI 環境を自動的に検出します。

## ユーザ設定

すべてのユーザ設定は、ローミングデータベース (spark\_roaming\_store.db) に存在しています。このデータベースは、メインの db (spark\_persistent\_store.db) よりはるかに小さいです。

非永続的な VDI をご利用のお客様 (ユーザがログアウトするごとに削除される VDI 環境) の場合は、VDI ユーザがセッション間に設定を失わないように、Appdata\Roaming\CiscoSpark を迅速にバックアップおよび復元できます。

ローミングデータベースには、AES256 を使用して暗号化された、すべてのユーザーのログイン情報および設定が含まれます。VDI をご利用のお客様は、VDI セッションを全体でユーザのログイン情報および設定が保持されるように、常に前記のフォルダをバックアップする必要があります。

ローミングデータベースを復号化するには、VDI セッション間で次のフォルダも同期する必要があります。

- AppData\Roaming\Microsoft\Credentials
- AppData\Roaming\Microsoft\Crypto
- AppData\Roaming\Microsoft\Protect
- AppData\Roaming\Microsoft\SystemCertificates

## Webex アプリ 向けの Azure Virtual Desktop の設定

次の概要レベルの手順を実行して、Azure Virtual Desktop (旧称 Windows Virtual Desktop) に新しい Windows 環境を展開します。AVD は、クラウドで管理される VDI ソリューションです。ユーザは仮想化された Windows 環境を通じて Webex アプリ にアクセスします。

### 始める前に

このソリューションには、Microsoft Azure のサブスクリプションが必要です。

TenantCreator ロールを持つユーザーアカウントが必要です。

ユーザーアカウントは、Azure Active Directory に同期する必要があります。

**ステップ 1** Azure 管理ポータルで展開手順を実行して、ホストプール、仮想マシン、および関連する設定を作成します。

ホストプールは、類似のサービスを提供する VM のコレクションです。Azure は、仮想環境の準備ができたことを示します。

ステップ2 Windows クライアントを使用して、ユーザーがホストプールにアクセスできるかどうかをテストします。  
特定の展開手順については、AVDの使用を開始するためのMicrosoftのドキュメントを参照してください。

## Control Hub における Webex アプリ 向けの VDI 最適化の設定



(注) この設定は組織全体に適用されます。サーバーレベルでの展開に影響するインストールパラメータとは異なります。

ステップ1 <https://admin.webex.com> のカスタマービューから、[管理 (Management)] > [組織設定 (Organization Settings)] に移動し、[VDI for Webex アプリ] までスクロールします。

ステップ2 設定を選択します。

- [オンに切り替える (Toggled on)] (デフォルト) —この設定を使用して、最適化された VDI ソリューションを有効にします。メディアパスは、VDI アーキテクチャ用に最適化されています。
- [オフに切り替える (Toggled off)] —最適化されていない VDI ソリューションを使用するには、この設定を使用します。メディアパスは、VDI アーキテクチャ用に最適化されていません。

## Windows シンクライアントシステムにおける Webex アプリ VDI プラグインのインストール

Webex アプリ を中央の HVD 環境にインストールしたら、次に、ユーザーにシンクライアントデバイス (Webex アプリ インストーラ (msi ファイル) または Webex アプリ と Webex Meetings オールインワンインストーラ (exe ファイル) ) に Webex アプリ VDI プラグインをインストールしてもらいます。シンクライアントは通常、軽量または用途変更されたコンピュータで、Webex アプリ がホストされる中央集中型の HVD サーバーとのリモート接続をユーザーが確立するために使用します。サポートされるプラットフォーム用のシンクライアントプラグインは、<https://www.webex.com/downloads/teams-vdi.html> で利用できます。

ユーザ用の VDI プラグインをインストールできない場合は、シンクライアントデバイスでこれらの手順を実行してもらいます。



## 始める前に

- Linux 用 Webex アプリ VDI プラグインでサポートされているプラットフォームのリストについては、[Windows シンククライアント](#) を参照してください。
- VMware を使用して 32 ビットまたは 64 ビット環境を実行している場合は、VMware 環境に一致する VDI クライアントをダウンロードしてインストールしてください。
- Webex アプリ は、中央の HVD 環境にインストールする必要があります。

## 手順

- スタンドアロン Webex アプリ専用 VDI プラグイン（隔月リリース）の場合：
  - a) <https://www.webex.com/downloads/teams-vdi.html> に移動し、[Webex アプリ VDI プラグインインストーラ（Webex app VDI Plugin Installer）] の下で、シンククライアントシステム用の Webex アプリ ビルドをダウンロードします。
    - Windows 32 ビット
    - Windows 64 ビット
  - b) ダウンロードした msi ファイルをダブルクリックします。
  - c) 実行可能ファイルを開くには、[OK] をクリックします。
  - d) EULA を読み、同意する場合は、[同意してインストール (Accept And Install)] をクリックします。  
<https://www.cisco.com/go/eula>
  - e) インストールを完了するには、[完了 (Finish)] をクリックします。
  - f) （任意）お客様またはユーザがフル機能のミーティング用に 2 つのプラグインを手動でインストールしている場合は、[シンククライアントシステムにおける Webex Meetings VDI プラグインのインストール（16 ページ）](#) の手順に従ってください。
- バンドルされた Webex アプリ および Webex Meetings VDI プラグインの場合：



(注) このインストーラには、Webex アプリ と Webex Meetings VDI プラグインが 1 つのパッケージとして含まれています。バージョン番号はダウンロードページで確認できます。スタンドアロンプラグインとしての Webex Meetings VDI は毎月リリースされますが、このバンドルされたプラグインインストーラは隔月リリースです。

- a) <https://www.webex.com/downloads/teams-vdi.html> に移動し、[バンドル VDI プラグインインストーラ（Bundled VDI Plugin Installer）] の下で、シンククライアントシステム用の Webex アプリ と Webex Meetings のオールインワンビルドをダウンロードします。
  - Windows 32 ビット
  - Windows 64 ビット

- b) ダウンロードした exe ファイルをダブルクリックします。
- c) 実行可能ファイルを開くには、[ **OK** ] をクリックします。
- d) インストーラに含まれるプラグインのバージョンが記載されているウェルカム画面を読み、[ **次へ (Next)** ] をクリックします。
- e) EULA を読み、同意する場合は、[ **同意する (I agree)** ] をクリックして、[ **インストール (Install)** ] をクリックします。

<https://www.cisco.com/go/eula>








- f) [ **Finish** ] をクリックして、セットアップ ウィザードを終了します。

### 次のタスク



- (注) Webex アプリ がユーザーのために正常に機能するには、ダウンロードサイトの公式シンククライアントプラグインを使用する必要があります。確認のために、正常性チェックは仮想チャネルの接続状態を表示します。

● You're connected to the internet.

|  |  |  |
|--|--|--|
| <br>Server connection<br><small>Test</small> | <br>All services are accessible  | <b>Services impacted</b><br>Everything looks good here!  |
| <br>Cloud<br><small>Refresh</small>         | <br>Operational                 | Information taken from<br><a href="https://status.webex.com">status.webex.com</a>  |
| <br>VDI<br><small>Test</small>              | <br>All services are accessible | ✓ <b>VDI version compatibility</b><br>Webex Client: 41.6.1.19162<br>VDI Plugin: 41.6.1.19187<br><br>✓ <b>Virtual Channel</b><br>Roundtrip: 408ms  |

# Linux シンククライアントシステムにおける Webex アプリ VDI プラグインのインストール

Webex アプリ を中央の HVD 環境にインストールしたら、次に、ユーザにシンククライアントデバイスに Webex アプリ VDI プラグインをインストールしてもらいます。シンククライアントは通常、軽量または用途変更されたコンピュータで、Webex アプリ がホストされる中央集中型の HVD サーバーとのリモート接続をユーザが確立するために使用します。サポートされるプラットフォーム用のシンククライアントプラグインは、<https://www.webex.com/downloads/teams-vdi.html> で利用できます。

## 始める前に

Linux 用 Webex アプリ VDI プラグインでサポートされているプラットフォームのリストについては、[Linux シンククライアント](#) を参照してください。

## 手順

### • HP ThinPro

- a) <https://www.webex.com/downloads/teams-vdi.html> から、**HP ThinPro** インストーラ (cisco\_webexvdi\_deb.zip) をダウンロードします。
- b) シンククライアントで、USB スティックから手動で、または大規模展開用 HP デバイスマネージャを使用して、次の順序で Webex アプリ VDI ファイルをインストールします。

インストールの順序

1. 前提条件
2. Webex アプリ (VDI .deb パッケージ用)。

大規模導入の詳細については、HP から入手可能な HP デバイスマネージャのマニュアルを参照してください。

- c) シンククライアントのイメージを作成します。HP から入手できる HP デバイスマネージャに関するマニュアルを参照してください。

### • Ubuntu

- a) <https://www.webex.com/downloads/teams-vdi.html> から、**Ubuntu** インストーラ (cisco\_webexvdi\_deb.zip) をダウンロードします。
- b) シンククライアントで、Webex アプリ VDI プラグインをインストールします。認証プロンプトでパスワードを入力します。

VDI deb パッケージ用の Webex アプリ をダブルクリックすると、Ubuntu ソフトウェアセンターが開きます。[インストール (Install)] をクリックすると、Ubuntu ソフトウェアセンターが依存関係ライブラリを探してインストールし、Webex アプリ クライアントをインストールします。

- c) シンククライアントのイメージを作成します。

#### • Unicon eLux

- a) <https://www.webex.com/downloads/teams-vdi.html> から、**eLux RP6** インストーラ (cisco\_webexvdi\_eLux.zip) をダウンロードします。
- b) シンククライアントで Webex アプリ VDI プラグインをインストールし、必要に応じて Cisco AnyConnect を同時に展開します。
- c) Elias ツールを使用して、Webex アプリ VDI プラグインを含むイメージを作成します。シンククライアントにイメージを展開します。イメージの作成方法またはシンククライアントの更新方法の詳細については、Unicon の web サイトから入手可能な Elias のマニュアルを参照してください。

#### • IGEL OS

- a) OS で USB メモリを作成し、デバイスでその USB メモリから起動することにより、IGEL OS のサポートされているバージョンがシンククライアントデバイスにインストールされていることを確認します)。

<https://www.igel.com/software-downloads/workspace-edition/> から IGEL OS をダウンロードします。

- b) 必要に応じて、Universal Management Suite (UMS) を使用して、システムファームウェアを更新します。
- c) 機能については、**Cisco Teams** を確認します。
- d) レジストリで、**vdciscoteams** パラメータを有効にします。
- e) [レジストリ (Registry)] > [vmware] > [ビュー (view)] で、**Cisco Teams** を確認します。
- f) シンククライアントで、Webex アプリ VDI プラグインをインストールします。認証プロンプトでパスワードを入力します。
- g) シンククライアントのイメージを作成します。

#### • Dell ThinOS

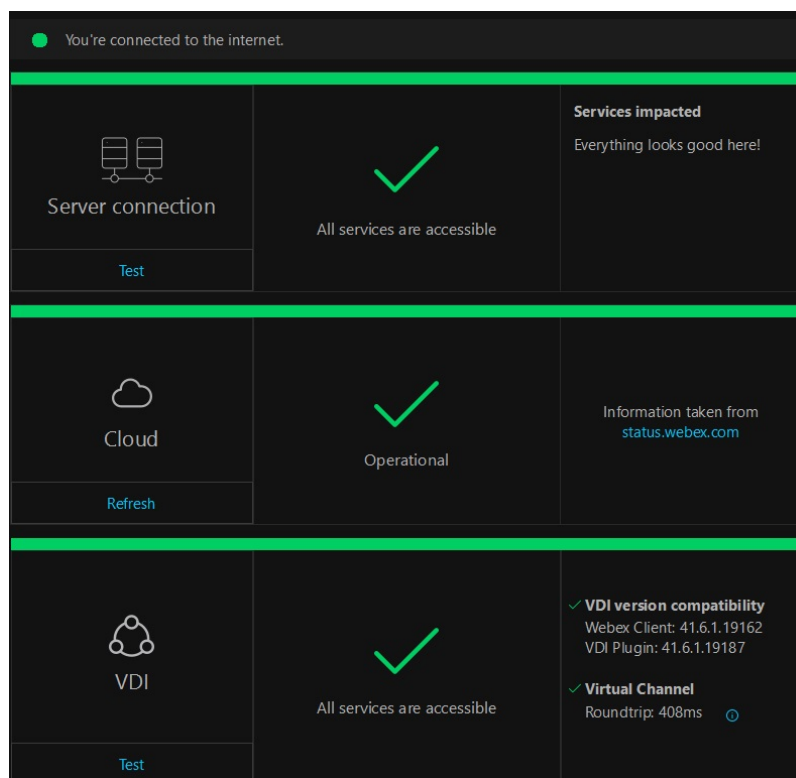
Webex VDI プラグインの特定のバージョンは、Dell Wyse ThinOS でサポートされています。このサードパーティの統合のため、テクニカルサポートについては Dell に問い合わせる必要があります。詳細については、サポートされているリリースの [Dell Wyse ThinOS ドキュメント](#) を参照してください。リリースノートの「サポートされているパッケージ」のセクションには、サポートされている Webex VDI プラグインのバージョンが記載されています。OS インストールパッケージのコピーを入手するには、[ソフトウェアダウンロードのページ](#) を参照してください。

#### • 10ZiG ゼロ クライアント シン クライアント

Webex VDI プラグインの特定のバージョンは、10ZiG ゼロ クライアント シン クライアントでサポートされています。このサードパーティの統合のため、テクニカルサポートについては 10ZiG に問い合わせる必要があります。詳細については、特定のシンククライアントの [10ZiG ページ](#) を参照してください。



- (注) ユーザーのために Webex アプリ が適切に機能し、VDI ように最適化されるには、シンククライアントビルドを使用する必要があります。確認のために、Webex アプリ の正常性チェックは仮想チャンネルの接続状態を表示します。



## macOS シンククライアントシステムにおける Webex アプリ VDI プラグインのインストール

Webex アプリ を中央の HVD 環境にインストールしたら、次に、ユーザにシンククライアントデバイスに Webex アプリ VDI プラグインをインストールしてもらいます。シンククライアントは通常、軽量または用途変更されたコンピュータで、Webex アプリ がホストされる中央集中型の HVD サーバーとのリモート接続をユーザーが確立するために使用します。サポートされるプラットフォーム用のシンククライアントプラグインは、<https://www.webex.com/downloads/teams-vdi.html> で利用できます。

MacOS インストーラ (PKG) を実行して、Webex VDI プラグインをインストールします。

## 始める前に

macOS 用の Webex アプリ VDI プラグインでサポートされているプラットフォームのリストについては、[macOS シンククライアント](#) を参照してください。

## 手順

- スタンドアロン Webex アプリ専用 VDI プラグイン（隔月リリース）の場合：
  - a) <https://www.webex.com/downloads/teams-vdi.html> に移動し、[Webex アプリ VDI プラグインインストーラ（Webex app VDI Plugin Installer）] の下で、macOS シンククライアントシステム用の Webex アプリ プラグインをダウンロードします。
  - b) ダウンロードしたら、CiscoWebexVDIPlugin.pkg ファイルをダブルクリックします。
  - c) EULA を読み、同意する場合は [続行（Continue）] をクリックします。
  - d) [インストール（Install）] をクリックしたら、Citrix Workspace クライアントまたは VMware Horizon クライアントを閉じてくださいというプロンプトを閉じ、[アプリケーションを閉じてインストールする（Close Application and Install）] をクリックします。

また、現時点で Citrix または VMware を閉じることができない場合は、[後でインストールする（Install Later）] をクリックすることもできます。

- e) 残りの画面をクリックして、インストールを完了します。
- バンドルされた Webex アプリ および Webex Meetings VDI プラグインの場合：



(注) このインストーラには、Webex アプリ と Webex Meetings VDI プラグインが 1 つのパッケージとして含まれています。バージョン番号はダウンロードページで確認できます。スタンドアロンプラグインとしての Webex Meetings VDI は毎月リリースされますが、このバンドルされたプラグインインストーラは隔月リリースです。

- a) <https://www.webex.com/downloads/teams-vdi.html> に移動し、[バンドル VDI プラグインインストーラ（Bundled VDI Plugin Installer）] の下で、macOS シンククライアントシステム用の Webex アプリ と Webex Meetings のオールインワンビルドをダウンロードします。
- b) ダウンロードしたら、WebexVDIPlugin\_AllinOne.pkg ファイルをダブルクリックします。
- c) EULA を読み、同意する場合は [続行（Continue）] をクリックします。
- d) [インストール（Install）] をクリックしたら、Citrix Workspace クライアントまたは VMware Horizon クライアントを閉じてくださいというプロンプトを閉じ、[アプリケーションを閉じてインストールする（Close Application and Install）] をクリックします。

また、現時点で Citrix または VMware を閉じることができない場合は、[後でインストールする（Install Later）] をクリックすることもできます。

e) 残りの画面をクリックして、インストールを完了します。

### 次のタスク

ユーザが Webex アプリ VDI プラグインを初めて起動する場合は、次の必要な権限を許可する必要があります。

| 権限      | 説明   |
|---------|--|
| アクセスカメラ | ビデオ通話でカメラを使用するか、または [設定 (Settings)] でカメラを開きます。 |
| アクセスマイク | 通話中にマイクを使用して音声を再生します。                          |
| 録音画面    | ビデオ通話でカメラを使用するか、または [設定 (Settings)] でカメラを開きます。 |



(注) Webex アプリ がユーザーのために正常に機能するには、ダウンロードサイトの公式シンクライアントプラグインを使用する必要があります。確認のために、正常性チェックは仮想チャネルの接続状態を表示します。

The screenshot displays a status page with a green header indicating internet connectivity. It is divided into three main sections, each with a 'Test' button:

- Server connection:** Shows a green checkmark and the text 'All services are accessible'.
- Cloud:** Shows a green checkmark and the text 'Operational'. Information is taken from [status.webex.com](https://status.webex.com).
- VDI:** Shows a green checkmark and the text 'All services are accessible'. It includes two sub-sections:
  - VDI version compatibility:** Webex Client: 41.6.1.19162, VDI Plugin: 41.6.1.19187.
  - Virtual Channel:** Roundtrip: 408ms.

# シンククライアントシステムにおける Webex Meetings VDI プラグインのインストール

Webex アプリ との完全な機能を備えたミーティングの場合、お客様またはお客様のユーザは、バンドルされている VDI プラグインまたは 2 つの別個の VDI プラグインをシンククライアントにインストールする必要があります。



(注) バンドルされている VDI プラグインパッケージは、Linux シンククライアントでは使用できません。Linux の場合、個別の VDI プラグインをインストールする必要があります。

## 始める前に

- HVD 環境では Webex アプリのみをインストールします。他のアプリは必要ありません。
- [Full Featured Meetings の要件](#) に従ってください。

## 手順

- バンドルされている Windows 用の Webex アプリ および Webex Meetings VDI プラグインの場合 :



(注) このインストーラには、Webex アプリ と Webex Meetings VDI プラグインが 1 つのパッケージとして含まれています。バージョン番号はダウンロードページで確認できます。スタンドアロンプラグインとしての Webex Meetings VDI は毎月リリースされますが、このバンドルされたプラグインインストーラは隔月リリースです。

- a) <https://www.webex.com/downloads/teams-vdi.html> に移動し、[ **バンドル VDI プラグイン インストーラ (Bundled VDI Plugin Installer)** ] の下で、シンククライアントシステム用の Webex アプリ と Webex Meetings のオールインワンビルドをダウンロードします。
  - Windows 32 ビット
  - Windows 64 ビット
- b) ダウンロードした exe ファイルをダブルクリックします。
- c) 実行可能ファイルを開くには、[ **OK** ] をクリックします。
- d) インストーラに含まれるプラグインのバージョンが記載されているウェルカム画面を読み、[ **次へ (Next)** ] をクリックします。
- e) EULA を読み、同意する場合は、[ **同意する (I agree)** ] をクリックして、[ **インストール (Install)** ] をクリックします。

<https://www.cisco.com/go/eula>



f) [Finish] をクリックして、セットアップ ウィザードを終了します。

- バンドルされている macOS 用の Webex アプリ および Webex Meetings VDI プラグインの場合：



(注) このインストーラには、Webex アプリ と Webex Meetings VDI プラグインが 1 つのパッケージとして含まれています。バージョン番号はダウンロードページで確認できます。スタンドアロンプラグインとしての Webex Meetings VDI は毎月リリースされますが、このバンドルされたプラグインインストーラは隔月リリースです。

- a) <https://www.webex.com/downloads/teams-vdi.html> に移動し、[バンドル VDI プラグイン インストーラ (Bundled VDI Plugin Installer)] の下で、macOS シンクライアントシステム用の Webex アプリ と Webex Meetings のオールインワンビルドをダウンロードします。
- b) ダウンロードしたら、WebexVDIPlugin\_AllinOne.pkg ファイルをダブルクリックします。
- c) EULA を読み、同意する場合は [続行 (Continue)] をクリックします。
- d) [インストール (Install)] をクリックしたら、Citrix Workspace クライアントまたは VMware Horizon クライアントを閉じてくださいというプロンプトを閉じ、[アプリケーションを閉じてインストールする (Close Application and Install)] をクリックします。

また、現時点で Citrix または VMware を閉じることができない場合は、[後でインストールする (Install Later)] をクリックすることもできます。

- e) 残りの画面をクリックして、インストールを完了します。

- 個別の Webex アプリ および Webex Meetings VDI プラグインの場合：

- a) サポートされているシンクライアントプラットフォーム用の Webex アプリ VDI プラグインをインストールします。
  - [Windows シンクライアントシステムにおける Webex アプリ VDI プラグインのインストール \(8 ページ\)](#)
  - [macOS シンクライアントシステムにおける Webex アプリ VDI プラグインのインストール \(13 ページ\)](#)
  - [Linux シンクライアントシステムにおける Webex アプリ VDI プラグインのインストール \(11 ページ\)](#)

- b) サポートされているプラットフォームの手順を使用して、Webex Meetings VDI プラグインをインストールします。

リリースの詳細については、[Webex Meetings VDI のリリースノート](#)を参照してください。

# VDI 向け Webex アプリの既知の問題と制限

## 機能

各リリースの機能の制約事項については、[リリースノート](#)を確認してください。

## Webex アプリ および VDI クライアント

- VDI モードでは、指定された Windows 向けの Webex アプリ（HVD インストーラ）および <https://www.webex.com/downloads/teams-vdi.html> に投稿されている Webex アプリ シンククライアントバージョンのみをサポートしています。
- Webex アプリ 向けの自動アップグレードを無効にして、上記のダウンロードリンクで入手できるバージョンを使用する必要があります。
- HVD 向けの IPv4 およびシンククライアント環境のみをサポートしています。
- ユーザーが VDI 最適化ソリューションを使用しないか、フォールバックモードを使用している場合、HD ビデオは無効になり、Webex アプリ はメディア品質の問題が発生する可能性がある旨の通知を表示します。



(注) ユーザーが最適化されていないモードまたはフォールバックモードで VDI を使用することは推奨されていません。カメラやヘッドセットが動作しなかったり、メディア品質が低下したりする可能性があります。

- MacOS VDI クライアントでは、HVD 接続が全画面の場合、ビデオフィードが MacOS システムバーまたはアプリケーションメニューにスピルします。
- Linux VDI クライアントでは、HVD ホストの Webex アプリ アプリでそのオプションが選択されている場合でも、着信コールの着信音はすべてのデバイス（シンククライアントのスピーカーを含む）を鳴らしません。HVD で選択されたオーディオデバイスのみが着信音を再生します。

## Unified CM Calling

- Expressway を使用したオンプレミスコールの場合のみ。MRA 向けのトラバーサルペアにおいて、HVD と Expressway-E の間に NAT が存在しない場合、Expressway は SIP とメディアシグナリングを内部として扱い、メディアをシンククライアントに送信しません。この問題を修正するには、HVD と Expressways 間に NAT を展開します。これにより、HVD が Expressway-E に SIP INVITE を送信すると、まずは NAT に送信されます。その後、Expressway-E はシンククライアントに送信できます。
- フォールバックモードの場合、[モードの選択 (Mode Selection)] のレジストリキーは、自動応答の Unified CM コール向けのメディアを制御できません。

## Citrix

- マルチタスク機能は、VDI 上の Webex アプリ では動作しません。
- 非最適化モードまたはフォールバックモードでは、Citrix デバイスマッピングがサポートするデバイスは最大で 4 台です。
- Citrix for Linux では、シンククライアント上のデフォルトデバイスを使用したボイスメール再生のみをサポートしています。したがって、ご希望の音声デバイスを使用してボイスメールを再生する場合は、シンククライアントの音声設定を開いて、デフォルトで使用するデバイスを設定する必要があります。
- Webex アプリ VDI クライアントをインストールする前に (Receiver/Workspace 環境を更新する場合を含む)、Citrix Receiver/Workspace をインストールする必要があります。Citrix または VMware クライアントがインストールされていない場合、Webex アプリ VDI クライアントはエラーを表示し、インストールが終了します。
- Windows では、2002 より前のバージョンの Citrix Workspace を実行している場合は、Citrix Receiver/Workspace をアンインストールおよび再インストールした後、Webex アプリ VDI クライアントを再インストール (アンインストールしてから、再度インストールまたは修正) する必要があります。バージョン 2002 以降を実行している場合は、アンインストールして再インストールする必要はありません。

サポートされているすべてのバージョンの Citrix Workspace for Linux では、Citrix Receiver/Workspace をアンインストールおよび再インストールした後、Webex アプリ VDI クライアントを再インストール (アンインストールしてから、再度インストールまたは修正) する必要があります。

- Citrix Receiver/Workspace は 32 ビットのアーキテクチャを使用します。Webex アプリ VDI 32 ビットと 64 ビットの両方がこの環境で動作します。

## Azure Virtual Desktop (旧称 Windows Virtual Desktop)

- オンプレミスの Unified CM コール用の Azure Virtual Desktop (AVD) では、現在、MRA で動作するシンククライアントのみをサポートしています。WVD デスクトップ (クラウドベースのリモートデスクトップ) の Webex アプリは、MRA で動作します。シンククライアントがオンプレミスにある場合、Unified CM コールが一部のファイアウォール設定でブロックされる場合があります。Webex Calling と Webex アプリ 組み込みコールへの影響はありません。
- AVD では、AVD クライアントの設定で [セッションをウィンドウに合わせる (Fit session to Window)] はサポートされていません。
- AVD を展開する場合、内部ネットワークと Expressway-E 間の UDP 接続を有効にする必要があります。ポート範囲は 16384 ~ 32767 です。

## VMware

- Webex アプリ VDI クライアントをインストールする前に、VMware Horizon クライアントをインストールする必要があります。Citrix または VMware クライアントがインストール

されていない場合、Webex アプリ VDI クライアントはエラーを表示し、インストールが終了します。

- VMware Horizon クライアント バージョン 8.x(2103)は、Webex VDI プラグイン バージョン 41.4 以降からサポートされています。

互換性モードの場合：ユーザーが以前の VDI プラグインバージョンを使用している場合（Webex アプリの 41.4 へのアップグレードのみを含む）、コール中のビデオが正しく表示されない可能性があります。

- VMware Horizon クライアントには 1 つのインストーラのみが備えられており、デフォルトのインストーラは 64 ビットのみです。Webex アプリ VDI クライアントには VMware Horizon クライアントと同じアーキテクチャが必要です（64 ビットの VMware Horizon クライアントは 64 ビットの Webex アプリ VDI クライアントでのみ動作します）。  
vdpService.dll が C:\Program Files (x86)\VMware\VMware Horizon View Client\x64 フォルダにある場合、64 ビットの VMware Horizon クライアントを有しています。vdpService.dll が C:\Program Files (x86)\VMware\VMware Horizon View Client\ フォルダにある場合、32 ビットの VMware Horizon クライアントを有しています。
- VMware for Linux および Windows では、シンクライアント上のデフォルトデバイスを使用したボイスメール再生のみをサポートしています。したがって、ご希望の音声デバイスを使用してボイスメールを再生する場合は、シンクライアントの音声設定を開いて、デフォルトで使用するデバイスを設定する必要があります。
- オンプレミスの Unified CM コール用の VMware Cloud デスクトップでは、現在、MRA で動作するシンクライアントのみをサポートしています。VMware Cloud デスクトップ（クラウドベースのリモートデスクトップ）の Webex アプリは、MRA で動作します。シンクライアントがオンプレミスにある場合、Unified CM コールが一部のファイアウォール設定でブロックされる場合があります。Webex Calling と Webex アプリ 組み込みコールへの影響はありません。
- VMware Cloud デスクトップを展開する場合、内部ネットワークと Expressway-E 間の UDP 接続を有効にする必要があります。ポート範囲は 16384 ~ 32767 です。
- VMware Horizon Client の [USB デバイスの接続 (Connect USB Device)] でカメラまたは音声デバイスを確認した後は、HVD の Webex は、それらのデバイスを検出または表示できません。

## その他

- Citrix および Windows Virtual Desktop vGPU 環境では、Webex アプリは VDI 環境で動作中として検出されません。

VDI 最適化を強制するために、ENABLEVDI=1 引数で Webex アプリをインストールすることをお勧めします。

- Webex アプリの 1 つのインスタンスとともに動作する 1 つの Webex アプリ VDI クライアントをサポートしています。ユーザーは複数の Citrix または VMware セッションを開始で

きますが、動作する接続インスタンスは1つのみで、他のインスタンスは非 VDI モードにフォールバックします。

- Webex アプリ VDI は、HVD 環境で Citrix、VMware の順に検出します。VMware を使用する場合は、Citrix Agent がインストールされていないことを確認してください。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。